北海道マラソン救護班に参加して

松田整形外科記念病院 木村 汐里

今年度の北海道マラソンは8月25日に開催され、47名の理学療法士が医師、看護師と連携をとり救護業務に当たりました。朝のスタート時は比較的走りやすいコンディションでした。日中は気温が高くなる予報だったため、新たにミストシャワーが導入されるなどの対策がされているとはいえ、熱中症が多くなることが予想されました。

実際、搬送された選手の大半が熱中症や脱水で、下肢の痙攣などが起こっていました。私たちはストレッチやアイシングなどを行い、歩行可能な状態に回復できるよう対応しました。多くの選手が運ばれてきましたが、無事に大会救護を終えることができました。

また、これまで続いていたコロナウイルス対策が緩和され、マスクの着用が必須ではなくなり、関わったスタッフの素顔を見られた久し振りの機会となりました。

今大会の経験を糧に来年度の大会もより一層良いものにできるように取り組んでいきます。